

貸借対照表

(2023年 3月31日現在)

(単位:千円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|-----------|-----------|----------------|-----------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 450,488 | 流動負債 | 557,884 |
| 現金及び預金 | 84,991 | 1年以内返済予定の長期借入金 | 108,000 |
| 売掛金 | 221,768 | リース債務 | 824 |
| 貯蔵品 | 48,731 | 未払金 | 370,312 |
| その他 | 94,996 | 未払費用 | 3,792 |
| 固定資産 | 4,805,861 | 未払法人税等 | 35,751 |
| 有形固定資産 | 4,618,901 | 前受金 | 27 |
| 建物 | 218,398 | 預り金 | 1,558 |
| 構築物 | 1,050,590 | 賞与引当金 | 37,617 |
| 機械装置 | 806,857 | 固定負債 | 204,719 |
| 貯槽 | 46,235 | 長期借入金 | 96,000 |
| 車両運搬具 | 185 | リース債務 | 2,130 |
| 工具器具備品 | 28,891 | 退職給付引当金 | 106,589 |
| 土地 | 2,465,056 | 負債合計 | 762,604 |
| リース資産 | 2,686 | (純資産の部) | |
| 無形固定資産 | 102,251 | 株主資本 | 4,493,745 |
| ソフトウェア | 30,386 | 資本金 | 4,000,000 |
| ソフトウェア仮勘定 | 61,000 | 利益剰余金 | 493,745 |
| 電話加入権 | 1,149 | 利益準備金 | 168,796 |
| その他 | 9,716 | その他利益剰余金 | 324,949 |
| 投資その他の資産 | 84,707 | 繰越利益剰余金 | 324,949 |
| 差入保証金 | 130 | | |
| 長期前払費用 | 35,319 | | |
| 繰延税金資産 | 49,219 | | |
| 預託金 | 39 | 純資産合計 | 4,493,745 |
| 資産合計 | 5,256,349 | 負債及び純資産合計 | 5,256,349 |

九州液化瓦斯福島基地株式会社

損益計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位:千円)

| 科 目 | 金 額 | |
|---------------------|---------|-----------|
| 売 上 高 | | |
| 施設賃貸料収入 | 475,282 | |
| 受託料収入 | 286,925 | |
| 国備施設賃貸料収入 | 317,389 | |
| 国備受託料等収入 | 715,551 | |
| その他営業収入 | 110,493 | 1,905,641 |
| 売 上 原 価 | | 1,470,138 |
| 売 上 総 利 益 | | 435,503 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 | | 302,114 |
| 営 業 利 益 | | 133,388 |
| 営 業 外 収 益 | | |
| 受取利息 | 0 | |
| 雑収入 | 14,081 | 14,081 |
| 営 業 外 費 用 | | |
| 支払利息 | 1,924 | |
| 雑損失 | 73 | 1,997 |
| 経 常 利 益 | | 145,472 |
| 特 別 損 失 | | |
| 固定資産除却損 | 419 | |
| 固定資産撤去費用 | 6,261 | 6,680 |
| 税引前当期純利益 | | 138,791 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 45,442 | |
| 法人税等調整額 | △ 1,994 | 43,448 |
| 当 期 純 利 益 | | 95,343 |

個 別 注 記 表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法
 - 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品・移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により評価しております。
2. 固定資産の減価償却の方法

| | |
|---------------------|-----|
| (1)有形固定資産(リース資産を除く) | 定額法 |
| (2)無形固定資産(リース資産を除く) | 定額法 |

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法による評価しております。

(3)リース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による評価しております。
3. 引当金の計上基準

| | |
|------------|--|
| (1)賞与引当金 | 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、当事業年度末における支給見込額を計上しております。 |
| (2)退職給付引当金 | 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき計上しております。なお、退職給付債務及び退職給付費用の計算には簡便法を適用しております。 |
4. 収益及び費用の計上基準
 - (1)株主との委託契約
 - ア. 施設賃貸料
主な履行義務は、株主との委託契約により寄託を受けた液化石油ガスを保管する貯槽設備や、液化石油ガスの入手荷に関連する設備の恒久的な維持管理業務であり、それらの設備に対する維持管理業務の完了時点で履行義務が充足されると判断し、収益を認識しております。
 - イ. 受託料
主な履行義務は、株主との委託契約により寄託を受けた液化石油ガスの貯槽設備における保管及び入出荷を行うことであり、寄託液化石油ガスの保管および受払業務完了時点で履行義務が充足されると判断し、収益を認識しております。
 - (2)独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構との委託契約
 - ア. 国備施設賃貸料
主な履行義務は、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構との委託契約に基づく貯槽設備の恒久的な維持管理業務であり、維持管理業務の完了時点で履行義務が充足されると判断し、収益を認識しております。
 - イ. 国備受託料
主な履行義務は福島国家石油ガス備蓄基地の所有する貯槽設備等の恒久的な維持管理業務であり、維持管理業務の完了時点で履行義務が充足されると判断し、収益を認識しております。
 - (3)その他
 - ア. その他営業収入
主な履行義務は自社の太陽光発電設備で発電した電気の売電業務であり、月末の検針をもって履行義務が充足されると判断し収益を認識しております。
5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
 - (1)重要なヘッジ会計の方法
 - ア. ヘッジ会計の方法
繰越ヘッジ処理によっております。
なお、特例処理の要件を満たしている金利スワップについては、特例処理によっております。
 - イ. ヘッジ手段とヘッジ対象
ヘッジ手段……………金利スワップ
ヘッジ対象……………借入金
 - ウ. ヘッジ方針
変動金利を固定金利に変換する目的で一部の借入取引に関し金利スワップ取引を利用しているのみであり投機目的のデリバティブ取引は行わない方針であります。
 - エ. ヘッジ有効性評価の方法
ヘッジ手段の想定元本とヘッジ対象に関する重要な条件が同一であり、かつ、ヘッジ開始時及びその後も継続してキャッシュ・フローの変動を完全に相殺するものと想定できるため、ヘッジの有効性の判定は省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

1. 担保に供している資産及び担保に係る債務
 - (1)担保に供している資産

| | |
|---------|--------------|
| 建 物 | 218,398 千円 |
| 構 築 物 | 1,050,590 千円 |
| 機 械 装 置 | 806,857 千円 |
| 貯 槽 | 46,235 千円 |
| 工具器具備品 | 0 千円 |
| 土 地 | 2,465,056 千円 |
| 計 | 4,587,138 千円 |
 - (2)担保に係る債務

| | |
|------------|------------|
| 1年以内返済長期借入 | 108,000 千円 |
| 長期借入金 | 96,000 千円 |
| 計 | 204,000 千円 |

注:工場財団に関するものであります。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 24,278,423 千円
3. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

| | |
|--------|-----------|
| 短期金銭債権 | 49,735 千円 |
| 短期金銭債務 | 291 千円 |

(損益計算書に関する注記)

| | |
|------------|------------|
| 関係会社との取引高 | |
| 営業取引による取引高 | |
| 売上高 | 762,207 千円 |

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当事業年度末における発行済株式の数

| | |
|------|-------------|
| 普通株式 | 8,000,000 株 |
|------|-------------|
2. 当事業年度末における自己株式の数
なし
3. 配当に関する事項
 - (1)当該事業年度中に行った剰余金に関する配当は以下のとおりです。

| | |
|--------------|------------|
| ア. 配当金の総額 | 98,000千円 |
| イ. 1株当たりの配当額 | 12.25円 |
| ウ. 基準日 | 2022年3月31日 |
| エ. 効力発生日 | 2022年6月24日 |
 - (2)基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの
2023年6月21日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

| | |
|--------------|------------|
| ア. 配当金の総額 | 94,000千円 |
| イ. 1株当たりの配当額 | 11.75円 |
| ウ. 基準日 | 2023年3月31日 |
| エ. 効力発生日 | 2023年6月21日 |

なお、配当原資については、利益剰余金とすることを予定しております。

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

- (1) 当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、金融機関からの借入により資金を調達しております。
(2) 売掛金に係る顧客の信用リスクは、与信管理を行いリスク低減を図っております。
(3) 借入金への用途は運転資金及び設備投資資金であります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2023年3月31日(当事業年度の決算日)における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。
なお、現金は注記を省略しており、預金、売掛金、未払金及び未払法人税等は、短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、記載を省略しております。

(単位:千円)

| 科目 | 貸借対照表計上額 | 時価 | 差額 |
|-------|-----------|-----------|-------|
| 長期借入金 | (204,000) | (203,889) | △ 110 |

(*) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(注) 金融商品の時価の算定方法

長期借入金

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。
なお、上記表には1年以内返済長期借入金を含んでおります。

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産の発生の主な原因は退職給付引当金の否認、賞与引当金の否認等です。

(関連当事者との取引に関する注記)

親会社及び法人主要株主等

(単位:千円)

| 種類 | 会社等の名称 | 議決権等の所有 (被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 | 科目 | 期末残高 |
|--------------|---------------|--------------------|------------------|--|---------|-----|--------|
| その他の 関係会社 | アストモスエネルギー(株) | (被所有) 50% | 当社への出資と 役員の兼任 | 当社所有貯蔵施設の 貸与及び関係会 社所有のLPガスの 貯蔵・受払 | 379,085 | 売掛金 | 22,848 |
| | | | | | | 未払金 | 143 |
| | ENEOSグループ(株) | (被所有) 50% | | | 383,121 | 売掛金 | 26,886 |
| | | | | | | 未払金 | 147 |

取引条件及び取引条件の決定方針等

注1: 価格その他の取引条件は、運営に関する基本契約書に基づき決定しております。

注2: 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

(収益認識に関する注記)

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「4. 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

(1株当たり情報に関する注記)

1. 1株当たり純資産額 561.71 円
2. 1株当たり当期純利益 11.91 円